

# ビルマネジメントビジネス（BMB）研究会 2008年度新規会員募集案内

## <研究会参加のメリット>

- \* 豊富な経験をもつ実務者及び一流講師による講演でより深い知識情報の獲得
- \* 講師及び会員相互の討論や情報交換などを通じた人脈形成。
- \* 電子メールやメーリングリスト、WEB、ブログ、SNSなどソーシャルメディアをより積極的に活用し、会員相互の情報交換の機会を創出する。
- \* 単独ではなかなか難しい現場の視察などの調査活動が公的に可能。
- \* 海外先進事例調査も実施(オプション)
- \* 具体的なビジネスを意図したWGなどへ優先的に参加可能。

2008年4月から2009年3月



(株) ビジネスインテリジェンスネットワーク

## 【趣旨・経緯】

ビル・マネジメント・ビジネス研究会は1995年、まずアジアにおける日本の役割の重要性の認識から、アジア諸国の実情調査をいち早く実施すると同時に欧米先進国のいわゆるグローバルスタンダードへの対応として、その新たな経営手法・問題解決手法に着目して調査研究を実施することを目的に設立されました。

2003年頃より、東京都心部には丸ビル、六本木ヒルズなど新しい大型再開発ビルなどが相次いで完成し、オフィスビルの供給が過剰になることに加え、大幅な自社ビルの増加傾向などにより、新旧を含めたオフィスビル間のテナント獲得競争がより一層激しさを増したが、昨今の米国発のサブプライムローン問題などが噴出、この影響は、活況を呈したJ-R E I T市場やオフィスビル業界を含む不動産ビジネスにとって、また新たな転換期を迎えようとしています。

しかしながら単一ビルや再開発から、再開発地区同士の連携、現存の街やビル群をより広い視点から、相互の環境や特徴を活用し、都市・街・エリア・ビル群を総合的にマネジメントしていく手法、すなわち“シティ・マネジメント・システム”の概念は、都市温暖化などの地球規模の環境問題なども含め具体的な対処技術や手法など、ビルマネジメント・ビジネスとしての可能性は依然として高まっており、会員相互の親睦や情報交換とともに、会員しか得られない、具体的なプロジェクトの受託研究、フィージビリティスタディなども念頭に、より一層の広い視点と具体的な成果を意図した調査研究が期待されていると考えます。

ビルオーナーはもとより、デベロッパー、建設・不動産業界、シンクタンクや建築設計事務所、ビル設備・工事業界、システム機器やメーカー、ビルメンテナンス業界、さらに不動産金融ビジネスなど新しいビジネスチャンスに挑む関連産業界の方々など多くの広い分野の専門家の継続的かつ積極的なご参加を期待いたします。

## 【テーマとポイント】

- 1) 新たなコンセプトで完成したオフィスビル、再開発ビルなどの現状調査、検証そして大幅なリニューアルや設備更新など付加価値をアップさせるビルマネジメント技術や手法などをシティマネジメントの視点から調査研究。
- 2) 都市再生の流れの中、都市を構成するオフィス空間や商環境、住宅等に対する地震防災などの増大するリスクやまったく新しいタイプのセキュリティなどに対する事業継続手法や技術開発の問題・対処策などの調査研究。
- 3) 不動産価値を高めるビルのリニューアルやコンバージョン(用途変更)などの具体的な技術や手法などを事例研究も含めて調査研究。
- 4) 都市の温暖化や排出権ビジネスなど地球規模の環境問題への取り組み、耐震設計などの具体的な技術や対処策などの調査研究
- 5) 不動産投資、J-R E I Tなどの不動産金融ビジネスや都市活性化のための多くの事例調査に加え、BRICsや中東諸国などとのかわりにおける新しい周辺ビジネスの創出を研究。
- 6) その他

## 【実施期間及び形式】

開催期間：2008年4月から原則隔月に年5から6回程度の例会を開催予定

開催形式：原則都内の会場にて、午後3:00～5:00の時間帯を活用し、90分の講演と質疑で構成するが、折にふれ新しい施設や特色ある開発などの見学や相互交流会などを含めて、バラエティに富んだより実質的な構成とする。

例会外のオプションとしては海外調査や国内遠隔地などの視察調査、特別セミナーなども適宜開催いたします。

\* 定例会の講師陣にはビルオーナー、都市計画家、資産管理者、開発担当者、建築設備担当者などの専門家、実務家をお招きして話題提供や講演を実施する。

\* より具体的な受託プロジェクトなどの研究テーマなどに際しては、別途会員有志を募った形のWGを適宜構成する。

## 【研究会参加のメリット】

\* 豊富な経験をもつ実務者及び一流講師による講演でより深い知識情報の獲得

\* 講師及び会員相互の討論や情報交換などを通じた人脈形成。

\* 電子メールやメーリングリスト、WEB、ブログ、SNSなどソーシャルメディアをより積極的に活用し、会員相互の情報交換の機会を創出する。

\* 単独ではなかなか難しい現場の視察などの調査活動が公的に可能。

\* 海外先進事例調査も実施(オプション)

\* 具体的なビジネスを意図したWGなどへ優先的に参加可能。

\*その他 BINET関連のセミナー等への参加割引特典（約半額となります）

## 【本年の度予定】

（下記テーマを基礎に選定し調整の予定です）

1. 地球環境問題等への注力（エネルギー、都市の温暖化等々の管理）
2. 建物の設備技術革新（環境に対応したオフィスビル、住宅等の設備技術）
3. J-R E I T、不動産投資などの動向分析（変動の激しい世界情勢の分析）
4. 実地セミナー&視察  
（国内の開発だけでなく、海外特に中国、インドなどBRICs諸国、中東などの事例も対象とする）
5. ネット・Web関連技術活用とビルマネジメント（迅速なICT進展への対応）
6. その他

### <運営及び会則>

会長：澤村正治氏（株）サンパティーク 代表取締役社長

前（株）日本インテリジェントビルシステムズ 常務取締役

創生期の森ビルへ入社、以後ビル管理、省エネルギー、不動産証券化など新しい不動産ビジネスやプロジェクトのコンサルティングに従事し、（財）省エネルギーセンターE S C O委員などにも従事し、現在都市・不動産管理・ビル管理などの総合コンサルティング会社（株）サンパティークの代表取締役に就任する。

主催・事務局：（株）ビジネス・インテリジェンス・ネットワーク（BINET）

運営：会の運営は原則正会員及び賛助会員の会費収入で賄い事務局がこれを実施する。

幹事会員：会長の承認を得て幹事をおくことができる

会員：1）正会員は所定の年会費を納め、会長の承認を得たものを正会員とする。

正会員は1社2名まで登録されます。（代理出席は可能）定例会を中心とした行事には優先的に参加できません。またBINET関連の他の分野のセミナーに約半額でご参加いただけます。

賛助会員：当会の活動に積極的にご協力していただくことの可能な法人又は個人会員会費は個別対応ですが原則正会員会費1口以上とします。

特別会員：会長及び正会員の承認を得て研究会に協力いただく会員。

ビジター会員：BMnet-clubなどメール登録会員及びかつてメンバーであった方などを総称します。個別のイベントに関連会員として有料参加いただけます。（ただしオープンイベントのみ）

その他

<年会費> 正会員 ¥252,000（税込み）・・・1社2名ご登録可能。

賛助会員、特別会員（別途ご相談）

\*お申込受付しだい事務局より会費の御請求いたします。

（ただし継続会員で登録会員に変更のない場合はお申し込み書のFAXは不要です）

### <主催・事務局連絡先>

（株）ビジネス・インテリジェンス・ネットワーク（BINET）

電話：03-5605-0875 FAX:03-5674-7322

ビルマネジメント・ビジネス研究会 事務局担当

<http://www.binet.co.jp/abmb/>

事務局御中 (FAX 5674-7322)

### FAXお申込フォーム

ビルマネジメントビジネス研究会2008の正会員に申し込みいたします。

月 日

下記の如く 名を登録いたします。

参加費用は御社指定講座に 月 日までに振り込みます

	参加者氏名	所属・役職
右記の者が参加 致します	1)	
	2)	
会社名		
ご連絡先住所 書類送付先	〒 1)	TEL FAX E-mail
	2)	TEL FAX e-Mail

\* 2名以上ご参加の場合はこの用紙をコピーしてご利用下さい。

\* 申し込み書を頂きしだい原則請求書をお送り致します。

\* 電子メールは必ずご記入ください。

その他：

連絡欄：